

郡上市

議会だより



2022.2

第71号

題字「郡上市」は、郡上市立牛道小学校6年生3名の作品です。

「郡」 村瀬 安咲 さん
「上」 美谷 添 暖 さん
「市」 おおたき 愛子 さん



伝統の「しらお獅子」を受け継ぐ牛道小の児童たち

より開かれ
信頼される
議会をめざして



Citrus Ribbon
PROJECT

目次

市議会が市長に政策提言	2
12月定例会 主な内容	4
請願・意見書・議長の動向	5
国及び県への要望・委員会活動報告	6
一般質問〈郡上の課題を問う〉	8
クイズの答え・皆さんからの声	15
クイズコーナー・編集後記	16

市議会が市長に政策提言



12月1日に、議長、副議長、3 常任委員長を含む議会運営委員が市長に対し全部で21項目の提言を行いました。各常任委員会が、行政評価をはじめ視察や各種団体との意見交換会などの活動を通して課題を検討し、その結果を反映させた政策提言となっています。詳しくは郡上市議会ホームページをご覧ください。

総務常任委員会

1 災害時における情報提供

統合型GISシステムを消防団員や市民が活用できるよう、積極的な情報提供に努められたい。



GIS（地理情報システム）画面（イメージ図）

2 地域振興

各振興事務所がより主体的に特色ある地域振興を行えるよう、地域振興促進事業の要綱の見直しとともに額を大幅に拡充されたい。

3 地域づくり団体の育成・支援

地域づくり団体のスタートアップや育成支援の充実を図るため、魅力ある地域づくり推進事業の要件を緩和されたい。

4 公共施設適正配置

「単なる削減」ではなく、市民

サービスの「改善」にもなるよう、施設の複合化や機能の充実など、時代にあつた機能への転換など複眼的な視点で実施されたい。

5 ふるさと寄附と関係人口

政策的経費の財源の確保と特産物や観光PRのためにも、ふるさと寄附額が拡充されるような取り組みを強化し、さまざまな関係人口の方々への段階に応じた施策を研究されたい。

6 移住定住について（行政評価結果からの提言）

活用しやすい補助制度の検討や、部課を超えた補助制度を連携させ、政策パッケージとしての移住定住を推進する施策を研究されたい。



各種意見交換を参考に提言しました

産業建設常任委員会

1 観光振興について（行政評価結果からの提言）

①郡上市観光連盟と各観光協会について
各観光協会に専従職員を配置できる予算措置と、観光連盟が一括調整できる体制の構築を図られたい。

②郡上八幡城について
周辺一帯の眺望を活かした取り組みと、百周年にむけた一大整備の検討をされたい。



郡上八幡城

③「日本一のおどりのまち郡上」について
各所で受け継がれる踊りを一か所でPRできる「郡上の踊り

会館」の整備について検討されたい。



かのみず 寒水踊り

④スノーリゾート（アウトドアリゾート）について

インバウンドの回復を見込み
通年型、滞在型の観光誘客に向け、グリーンシーズンの対策を強化されたい。

2 脱炭素社会郡上について

郡上市地球温暖化対策実行計画
協議会と並行して、市民の意識の向上と行動につなげられたい。

3 森林づくりについて

森林環境譲与税を活用した、森林所有者と境界の確定作業に取り組まれたい。

森林マネジメント協議会の体制強化を図られたい。

4 道路整備の推進について

国・県道の拡幅や歩道の整備が遅れている箇所について、管理者に働きかけられたい。

5 防災対策について

近年の増水による、災害発生の原因になり得る、河床の状況調査を実施し、未然防止に努められたい。

6 空き家対策について（空き家対策特別委員会からの提言）

市民による空き家の活用を図るために、空き家等活用改修費補助金を市民にも拡大されたい。また、安易な放置に留意しつつ、危険空き家解体撤去支援事業補助金を拡充されたい。

文教民生常任委員会

1 子育て支援の充実を（行政評価結果からの提言）

今後の少子化を見据えて、第一子、第二子対象の支援事業と、多子世帯の住宅取得・改築や、商工会と協力した子育て世帯優待サービスなど、生活負担軽減へのあらゆる支援を検討されたい。

2 新型コロナウイルス感染症対策の着実な実施

第6波も危惧されており、引き続き感染症対策等を「新型コロナウイルスZERO運動」の推進とともに徹底されたい。

3 市におけるヤングケアラーの実態調査及びその対策

近年、中学生が家庭において家族の世話や介護に追われ、学業への支障をきたしており全国的な問題となっている。市においても調査を進め、予防と対策を講じられたい。

4 通学路の歩道設置促進と歩行者にやさしい歩道への整備

悲惨な事故を事前に防止し、安全を確保するために歩道の設置を進められたい。市内の歩道にお



歩道の設置が求められている通学路

ても年数を経て老朽化し、高齢者の歩行や電動車椅子等の通行に支障をきたしているため、早期の改良整備を促進されたい。

5 不登校児童・生徒への対応について

児童・生徒の不登校が全国的に増加傾向であることから、本市においても要因を把握し、本人に寄り添った支援に向け対応されたい。

6 ICT教育におけるタブレットの運用について

子ども達が一人一台のタブレットを効果的に活用するため、タブレットの使い方・トラブル時の対応等について教師の指導研修及び補助員の充実に努められたい。

7 医療従事者の宿舎整備

市立病院の市外出身の医師・看護師宿舎を、清潔な環境下で利便性の高い宿舎となるよう修繕に努められたい。

8 看護師不足の解決に向け就職支援制度の設立を

看護学校を卒業し、市立病院へ就職する市外からの看護師の奨学金を支援する制度を設立し、看護師確保に努められたい。

12月定例会

設する。(令和6年4月1日から施行)

令和3年度一般会計補正予算

11億8678万円増額を可決

(全会一致)

主な内容

12月定例会は、会期を11月30日から12月23日までと決め、条例の一部改正4件、一般会計・特別会計の補正予算、指定管理者の指定14件など34件を審議・議決した。

条例の一部改正

(全会一致)

主な内容

●郡上市保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正

めいほうトンネルの開通により、令和4年4月1日から小川保育園を明宝保育園に統合する。

●郡上市国民健康保険条例の一部改正

出産育児一時金の支給額を、「40万4千円」から「40万8千円」に改める。

●郡上市立学校設置条例の一部改正

令和4年4月1日から、小川小学校を明宝小学校に統合する。

大和地域の小学校(大和西小、大和南小、大和北小、大和第一北小)の4校を統合し、大和小学校を新

食材供給施設

指定団体(株)ハイウェイたかす

●牧歌の里施設、高鷲ふれあい農園施設

指定団体(株)牧歌コーポレー

ション

●郡上八幡旧庁舎記念館、博覧館、八幡城など6施設

指定団体(一財)郡上八幡産業

振興公社

●大和古今伝授の里フィールドミュージアム、やまと温泉やすらぎ館、郡上旬彩館やまとの朝市など5施設

指定団体 郡上大和総合開発(株)

●白鳥石徹白交流促進センター

指定団体(株)伊野原の郷

●ひるがの高原多目的広場、ひるがの湿原植物園、高鷲叫高原スポーツ広場など4施設

指定団体(協組)高鷲観光協会

●高鷲湯の平温泉

指定団体 奥長良観光開発(株)

●明宝磨墨の里公園

指定団体(株)明宝マスターズ

●和良運動公園

指定団体 和良運動公園管理組合

●八幡デイサービスセンターなど各地域の高齢者福祉施設、すみれ作

業所、ぽぷらの家

指定団体 郡上市社会福祉協議会

●フレンドシップつくしの家

指定団体 NPO法人郡上つくし

字区域の変更

(全会一致)

八幡町初納土地区画整備に伴う「字下島」区域の変更

工事請負契約の締結

(全会一致)

市道鍛冶屋洞線(白鳥町那留地内)の災害復旧第2期工事

・契約の相手方(株)前田土木
・契約金額 5億1590万円

請願

●請願第3号(継続審査)

日本政府が「核兵器禁止条約」に署名・批准することを求める意見書提出を求める請願

(全会一致で趣旨採択)

●請願第4号

地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する請願(賛成多数)

意見書

●消防団の活動に係る支援の充実を求める意見書(全会一致)

請 願

日本政府が「核兵器禁止条約」に署名・批准することを求める意見書提出を求める請願

(全会一致で趣旨採択)

郡上市議会として過去2回にわたって核兵器廃絶等を求める意見書を提出していることや、唯一の被爆国としての責任があることから、請願の趣旨には賛同するが、核の傘で守られている中で本条約に署名・批准することは難しい。締約国会議にオブザーバー参加することや、核保有国と非保有国との橋渡し役を担うことが必要ということで趣旨採択とした。

地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する請願書

(賛成多数で採択)

たばこ税収よりも「たばこ病」による医療費等のほうがはるかに多いことや、市民の健康を守るためにも市が率先して喫煙環境の整備をすることへの懸念も表明された。

一方で、喫煙場所があることで吸い殻による環境汚染の防止に繋がることや、観光立市として喫煙環境づくりを前向きに検討することを期待したいということで採択となった。

国へ意見書を提出しました

市内消防団員(約1800人)の処遇改善に向けて、本市の実情に応じた一層の財政支援を国に求める意見書を提出しました。

消防団の活動に係る支援の充実を求める意見書

消防団は、火災、地震等の災害時には、現場において消火活動や救助活動等に当たり、地域住民の安心・安全の確保のために大きな役割を果たしているが、少子高齢化等による団員数の減少、団員の平均年齢の上昇がみられる一方で、災害の多発化・激甚化により消防団員の負担は増加し、消防団を取り巻く環境は厳しさを増している。

このような状況の中、国は消防団員数の確保を目的とし、団員の処遇改善に向けた通知を各自治体に出されたが、普通交付税の消防費は、標準団体行政規模として人口10万人当たり583人を標準団員数として算定しており、広大な面積を有する本市のような自治体では、標準団員数による活動では十分な災害対応活動を行うことができないのが実態である。

「消防団を中核とした地域防災力充実強化に関する法律」における「地域防災力の充実強化」のためには、本市のような中山間地域においては、現状程度の団員数の確保は不可欠である。

また、特別交付税については、消防団員が前年に対して増加又は標準団員数の2倍以上有する市町村に対し、普通交付税の措置額を超える分の2分の1が措置されてはいるが、実態に見合った交付税措置等がされていないことから、大きな負担が生じている状況である。

本市においても「消防団員の処遇改善」に向けて検討を行っているが、国においても、消防団を中核とした地域防災力の充実強化を一層図るため、普通交付税の算定方法の改善や特別交付税の更なる拡充など、市町村の実情に応じた一層の財政支援を行うことを強く求める。

※原文を要約して掲載しています。

議長の動向

全国過疎地域連盟 理事会 等

山川直保議長は、令和3年11月15日に、全国過疎地域連盟理事会、定期総会に参加しました。



会員相互間の意思の疎通と結束の強化を図り総会が開催されました

総合的な過疎対策を充実・強化し、過疎地域の振興・持続的発展が図られるよう、令和3年4月に過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法(新過疎法)が議員立法で成立しました。

また、過疎市町村の財政基盤の確立をはじめ、地方創生・人口減少の克服、安心・安全に暮らせる生活基盤の確立、高度情報通信等社会に向けたインフラ整備、地域資源を活用した産業振興と雇用創出、集落対策の促進・地域活性化など6項目について強く要望しました。

国及び県への要望

事業の促進や新規採択などの来年度予算確保に向けて、県議会議員及び市長とともに、議会から議長・各常任委員長が参加し、要望活動を行いました。

中部地方整備局・岐阜国道事務所

日程 令和3年11月9日

内容 東海北陸自動車道の全線4車線化事業の早期事業化、濃飛横断自動車道「堀越峠工区」の国による権限代行での早期事業化、一般国道156号「郡上大橋」橋梁架替の事業推進。

岐阜県県土整備部

日程 令和3年11月26日

内容 濃飛横断自動車道「八幡・堀越峠工区」の早期事業化、一般国道156号の整備事業の促進、一般国道256号の歩道整備事業の促進及び道路改良の早期事業化。

岐阜県林政部

日程 令和3年11月26日

内容 林業振興と山村の活性化を図るための林道等路網整備の推進、災害に強い森林づくりの推進、木材生産及び木材利用の

推進。

岐阜県農政部

日程 令和3年11月26日

内容 農山村活性化の推進、農業農村整備事業の推進、農家への経営安定対策の推進。

国会議員・関係省庁

日程 令和3年11月16・17日

国会議員 渡辺猛之国土交通副大臣・金子俊平衆議院議員・大野泰正参議院議員・足立敏之参議院議員・進藤金日子参議院議員・佐藤信秋参議院議員・宮崎雅夫参議院議員
関係省庁 総務省、国土交通省、農林水産省、厚生労働省、財務省



財務省での要望活動

委員会活動報告

総務常任委員会

人口減少をテーマに、和良地域協議会、明宝地域協議会と意見交換を行いました。

10月19日

和良地域協議会との意見交換会

耕作放棄地、空き家、公共施設などの課題について意見交換を行いました。和良地域では特に耕作放棄地や空き家についてしっかりとした経営体や推進団体が存在しており、その重要性を再認識しました。

他の地域もそういった団体が活動しやすいよう地域づくり団体のスタートアップ支援や公共施設の課題についても政策提言で取り上げました。

11月5日

明宝地域協議会との意見交換会

道の駅を拠点とした小さな拠点づくりの動きやデジタルを用いた地域振興、めいほうトンネル開通を生かした振興や所有者不明土地の問題などについて意見をうかがいました。

特に地域独自の取り組みへの支援については委員会の政策提言で取り

上げることができました。

所有者不明土地の問題について、国の法改正など委員会でも勉強会を開催し取り組んでおり、多くの知見を得た意見交換会となりました。



意見交換会の様子

10月11日

公共交通事業者との意見交換会

コロナ禍における交通事業者の現状と課題について意見をうかがいました。どの業態の事業者からもコロナ禍の厳しい現状とともに、運転手不足の課題が出ました。市としても問題意識をもって対応している課題ですが、市民の足の確保にも人手不足の問題が喫緊の課題であると肌で感じた意見交換会となりました。

産業建設常任委員会

9月22日

長良川木材事業協同組合の視察

施設内の概要説明を受けた後、工場内の設備を見学しました。

特に開業時には無かった大径木の加工について、このほど大径木も加工できるシステムが完成し、より多くの素材加工ができるようになり、木材生産者からも期待されています。また、作業過程で発生する木くずや、小径木などを燃料とするバイオマス発電設備の施設も検討され、環境に配慮された事業展開を進めておられます。

市内にこうした大規模な施設で稼働されておられることは大変ありがたい、市内林業の発展に大きく貢献してもらえるものと期待しています。

11月18日

森林づくり部会との意見交換会

郡上市森林づくり推進協議会は、森林にかかる関係者の方々21名による組織で、平成18年より市内の山林のあり方や、100年先の森づくり、林業を成長産業として育成していく

方策などについて話し合いを進めてみえます。

活動では、市内の山林の中で林業経営に適している山林を「木材生産林」として位置づけ、植林から生産販売までしっかり管理する山林として区分けし、一方、林業経営に適さない山林は「環境保全林」として、自然を活かし天然林のまま水源涵養やCO₂の吸収源として残していく、いわゆる山容の色分けであるゾーニングを行って、市内山林の未来のあり方について進められております。

部会代表から以上の内容を含め、市内森林の適正な管理と、市内林業の成長産業化を目指し、林業事業体の育成、確保についての意見や、マネジメント協議会の人員確保などの体制の強化と機能の向上を図る必要があると説明を受けました。

また、境界確認や、所有者確認が喫緊の重要な事業であり、森林環境譲与税を有効に使用して、早急に取り組む必要がある旨の要望が出されました。

市内の9割を占める森林資源をいかに活かして守り抜くかの方策が詳細にわたって提示され、大変有意義な意見交換となりました。

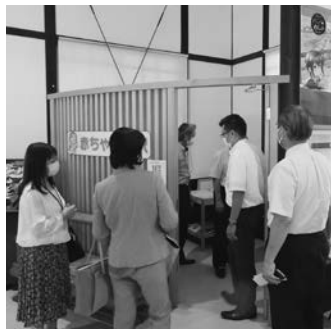
文教民生常任委員会

9月24日

「赤ちゃんの駅」の視察

現在市内において、乳児を連れた家族の外出支援目的で、授乳とおむつ交換ができる施設が19か所設置されています。八幡町内8か所の内、7か所の視察を行いました。

母子のプライバシー保護や衛生面など、一層の環境整備と、見やすい案内板の設置が望まれます。



郡上八幡駅での視察の様子

10月27日

郡上市民病院との意見交換会

新型コロナウイルス感染者専用病床の推移は、令和2年8月3床、令和3年1月5床、3月以降8床で、受入れ総数は58人（視察時では0人）となっており、令和2年度と3年度9

月末の入院患者数は新型コロナウイルス感染症の影響により、対前年比累計で7033人減少していると説明を受けました。

11月4日

国保白鳥病院との意見交換会

新型コロナウイルス感染対応策として、市全域のワクチンの管理は国保白鳥病院で対応していると説明を受けました。

現在、外来患者のプライバシーへの配慮と、人工透析病棟の環境改善のための改修工事が行なわれており、現場の視察を行いました。

両市立病院ともに、看護師不足の問題に直面しており、さまざまな取り組みにより看護師確保に努めています。

11月15日

郡上市民病院宿舍の視察

八幡町内に宿舍が5施設（30名分）あり、現在25名が使用しています。改修が必要な状態の部屋がありますが、令和4年度には、新たな看護師等の研修者への部屋が不足するため、緊急時の医療従事者宿舍の確保が課題であると感じました。

郡上の課題を問う



あなたの声を市政に

一般質問とは、市の行政全般について、議員が市長をはじめとした執行機関に質問を行い、見解などを求めることです。12月定例会の一般質問に13名の議員が登壇しました。質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

また、YouTubeでの一般質問録画配信も行っております。

●[郡上市HP](#)>[郡上市議会HP](#)>[一般質問録画配信](#) からご覧いただけます。



YouTube

一 般 質 問 一 覧

	議員名	質問事項
1	美 谷 添 生	1. 財産管理 2. 交通問題
2	森 喜 人	1. コロナ禍後の「消費急増期」への備え
3	田 中 義 久	1. 新型コロナから市民の命と暮らしを守る 2. 災害から市民の命と暮らしを守る
4	田中 やすひさ	1. 農業振興と「食」について 2. カーボンニュートラルについて
5	原 喜 与 美	1. コロナ禍での観光立市郡上の今後は 2. 山林の放棄地対策について
6	本 田 教 治	1. 八幡商店街における交通安全対応について 2. スケートパーク新設について
7	田代 はつ江	1. コロナとインフルエンザの同時流行に備え 2. 感染症対策に資する口腔ケアについて 3. キャッシュレス決済を利用した消費喚起 4. 固定電話に防犯対策を

	議員名	質問事項
8	田代 まさよ	1. ゴミ処理全般について 2. 里親制度について
9	清 水 敏 夫	1. めいほうトンネル開通と地域づくり 2. 認知症予防と患者支援策の「条例化」は 3. 一人暮らし高齢者の見守り支援は 4. 老朽化した農業用水路の整備の市単事業化は
10	野 田 勝 彦	1. 「脱炭素社会郡上」の実行計画の進捗状況は 2. 市民の暮らしと営業を守る経済的支援は
11	三 島 一 貴	1. 公共施設適正配置計画について
12	森 藤 文 男	1. 郡上八幡城を活用した観光まちづくりは 2. ウッドショックによる市内産業の影響は
13	長 岡 文 男	1. 企業誘致対策について 2. 太陽光発電の促進について

※一般質問のページに関しては、各質問者の責任で掲載しております。

問 ▶ 指定管理者制度導入の公共施設は



美谷添生
みやぞえせい

市長公室長 公の施設全体では、現時点で62施設

施設の売却は

日置市長公室長

現在の公共施設、すべてを現在のまま維持することは不可能と考える。

適正配置計画で「譲渡」

とした施設は、可能な限り早期に対応を進めたい。

長良川鉄道の運行と市の役割について、越美南線が開業（美濃太田～北濃）した昭和9年以來の利用者の推移は

市長公室長

昭和52年度以前の記録はない。ピークは昭和53年度の240万7千人で、昭和60年度は170万2千人、なお、長良川鉄道ではピークが平成4年度の180万4千人、令和元年度は78万1千人。

長鉄の価値、存在意義、

今般締結された「銚子電鉄」「えちごトキめき鉄道」との「3姉妹鉄道協定」への期待は

日置市長

旅客鉄道として果たしている役割は大きく変わ

ったと思うが、地域の公共交通として果たす役割は大きい。また、観光面において鉄道が及ぼす優位性や波及効果は大きい。

存在意義としては、脱炭素社会、高齢社会に入っていくなかで、公共交通として重要な役割を果たす。観光資源としても利用できると思う。

私は望んで社長をしているわけではないが、首長をしながら長距離路線である長良川鉄道の社長を務めることは重い。

3姉妹鉄道協定については、2つの会社の社員あがりの特色ある経営努力を長鉄の社員にも勉強してもらいたいとの思いで提携した。

改築が望まれる美濃白鳥駅

改築が望まれる美濃白鳥駅

改築が望まれる美濃白鳥駅

改築が望まれる美濃白鳥駅

改築が望まれる美濃白鳥駅

改築が望まれる美濃白鳥駅

改築が望まれる美濃白鳥駅

改築が望まれる美濃白鳥駅

改築が望まれる美濃白鳥駅

改築が望まれる美濃白鳥駅

問

アフターコロナの地方創生のため「DX（デジタルトランスフォーメーション）」の活用を

市長公室長

重要な取り組みと考え、着実に進めていく



森 喜人
もり よしと

コロナ禍を機に一気にDXにチャレンジを

日置市長公室長

DXの活用について

は、地域における課題を解決し市民の生活を豊かに・安全に・安心に・便利にすることが大きな目的であると考

えている。

アフターコロナの地方創生のため、また新たな感染拡大や労働人口の減少への備え、そして働き方改革などにもつながる重要な取り組みと考える。

現在市内でも農業・林業・観光など各分野において様々な活用されている。

市の業務においても、業務効率化を目的として、AI・OCRという手書きの文字を人工知能により高精度に読み取りデジタル化するソフトウェアと、RPAというパソコンを用いた事務作業を自動化するソフトウェアを導入した。

これにより、大量の手書きによる申請書をパソコンで処理する定型的で、多く時間のかかる業務の自動化に取り組んでいる。

来年度には、行政手続きのオンライン化を進める予定であり、スマホやパソコンから市役所にオンラインで申請や届け出などが実施できる基盤の整備や、マイナンバーカードを利用した住民票・税証明などのコンビニ交付の導入を検討したい。

同時に、デジタルに不慣れな方への対応や先端技術ゆえの導入コストの問題など多くの課題があるが、着実に進めていく。

「DX」の経済産業省の定義

データとデジタル技術を活用し、顧客や社会のニーズを基に、製品・サービス・ビジネスモデルを変革するとともに、業務・組織・プロセスなどを変革し競争上の優位を確立すること

問

コロナから市民の命とくらしを守る対策は何か

市長

新たな変異株と第6波に警戒しつつ、
経済と生活の活動再開に取り組む



たなか よしひさ
田中 義久

発症から2年を経て
節目のコロナ対策は
日置市長

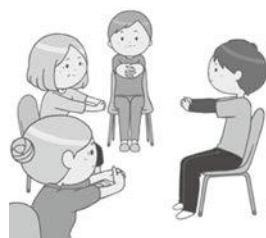
感染防止に万全の対策をしながら、これまでとすれば滞っていた経済活動、市民生活を活性化していかなくてはならない。
感染防止対策の支援とともに、飲食店、タクシー、また代行運転を利用された時にプレミアム商品券をつけることなども始めていく。
コロナ禍で人と人との接触が絶たれ、サロ

ン活動なども滞った中で、介護予防と認知症予防に力を入れるべきでは

田口健康福祉部長

外出自粛などがもたらす高齢者の健康への影響は課題。要介護・要支援認定者は昨年対比10人増で内訳は重度化が進んでいる。

サロン実績は大きく減少したが、市としては、NPO法人等の協力を得て「元氣アップ教室」や「フレイル予



健康運動
(イラストのためマスクはつけていません)

防教室」を開催している。今後は、さまざまな通いの場の拡充を行い、地域ぐるみで事業を展開していく。

災害から市民を守る

豪雨災害後の小那比北部地区の護岸工事が滞っている。計画はどうか。担当職員に過重負担はないか

小酒井建設部長

昨年度に神奈良川と小那比川の合流点の河道拡幅暫定対策工事を行い、今年度は詳細設計、来年度以降に用地買収と工事着手の予定。課内では職員間で業務の相互支援を行っているが、連絡を密にしてスムーズな業務推進を行う。



たなか やすひさ
田中 やすひさ

給食に市内農産物のさらなる利用拡大を

教育次長 まずは使用量30%を目指す

学校給食で市内農産物のさらなる活用ができないか。そのために市内農産物のみを使用した「郡上の日」を作ってはどうか。その際、保護者負担が増えないよう農林水産部で支援できないか

教育次長

市内産農産物の使用量の割合を、現在の約23%から、30%を目指したいと考えている。

「郡上の日」を設けることについては、今後、検討していく。

五味川農林水産部長

郡上を代表する農水産物や加工品を、保護者に新たな負担が生じない形で、市の予算で食材を調達して、学校給食に提供することを考えている。

農産物等活用ネットワーク構築事業は、市内の農業者を流通の面で応援する取り組みであるが、道の駅等では、農産物が不足しているとの課題も

ある。市内産農産物の更なる流通についてどう考えるか

農林水産部長

今年度、この事業は、市内飲食店等のニーズにあった農産物の試験栽培を始めており10種類を栽培している。取引される飲食店等も拡大しており、その拡大とともに八幡、和良にある農産加工法人と連携し加工した農産物を届けるなど、事業者同士の新たな枠組みも芽生えた。

来年度も継続して事業を行うとともに、地産外消として、福井県の道の駅「荒島の郷」への物流便も検討している。

売れる農産物づくりを
行うとともに、物流を効率的に行っている。い



おいしい米に代表される
本市の農産物を応援

ウィズコロナ社会を乗り切る、 本市の観光産業の方策は



原 喜与美

観光立市を掲げ観光産業に舵を切っているが、今後も続くと想定されるウィズコロナ社会での方策は

青木副市長

迷うことなく観光事業に全力を注ぎ 邁進する覚悟でいる

副市長

観光立市郡上で目指しているのは、観光客も市民も共に幸せを感じる「感幸地域づくり」であり、四季を通じて豊かな体験ができ、何度訪れても新たな感動を得てもらえる観光を目指している。次の五つの方策でもって推進していく。

- ① 観光の中核を担う観光連盟の組織強化が図られ、市全域を視野に組織体制のさらなる強化。
- ② 市の自然、歴史、文化などを体感してもらうプログラムやコースを創って発信。
- ③ 「日本地域情報コンテンツ大賞」の受賞を機に情報発信の充実と強化。
- ④ 国際競争力の高いスノーリゾート形成促進事業を活かし、スキー場を含



む関連事業の条件整備。

- ⑤ 市内の美味しい米や野菜などの新鮮な農水産物を観光客に提供するための、生産、流通、販売までのシステム体制の整備。

これらの施策をもって、観光立市の方針は転換することなく着実に進めていく。

山林所有者の高齢化、世代交代による山林の放棄地が増えているがその対策は

五味川農林水産部長

市内の山林を木材生産林と保全を目的とした環境保全林に大別し、その中の人工林の未整備森林が約1万1千haある。

手始めに、この山林から対策を開始しており、森林経営管理制度と森林環境譲与税を活用して整備を進めていく。

問

八幡市街地における交通社会実験の結果と今後の考え方は

建設部長

一方通行化などの交通規制は協議会に諮りながら住民の合意の上で慎重に結論付けて行きたい



本田 教治

過去、車両一方通行の実験を行ったようだが、その結果を踏まえて今後の見解は

小酒井建設部長

令和元年度に、交通混雑の解消、歩行者と自動車共存する交通環境づくりを検討する車両一方通行化の実験を実施し、一定の成果を得た。今後は協議会に諮りながら住民の皆さんの合意を得て慎重に結論付けていきたい。

八幡市街地の通行車両と歩行者との接触事



八幡市街地の状況

故の防止策は

建設部長

年間2・3件事故が起きていたが、1件でも事故が起きることは重大なことである。

歩行者専用道路と勘違いしないよう、既に施工している石張りや色分けにより、歩行部分と車道部分が識別できる整備方法を今後進めていきたいと考える。

スケートパーク

新設について

安心して楽しめるスケートボード専用公園が無いために、公共の公園・施設のベンチなどが破損したり、命に関わる事故の発生も否定できない状況を踏まえ、パークの新設を

佃教育次長

財政面や費用対効果等の面から、まだ具体的に整備する判断はできないが、新たなスポーツの推進として、国などの動向を踏まえ今後の研究課題としたい。なお、民間組織による屋内スケートパークの整備構想がある。今後、協力できることがあればしていきたいと思っている。

問

新型コロナウイルスワクチンの

3回目の接種時期は

健康福祉部長

一般高齢者は3月から

接種が可能



田代 はつ江

コロナワクチン3回目接種の詳細とインフルエンザワクチン接種との留意点は

田口健康福祉部長

18歳以上を対象に2回目接種から8か月以降を原則とするが、今後示される国の方針を踏まえた上で検討する必要がある。

市では、3回目接種は医療従事者が令和4年1月から、一般高齢者は3月から可能となる。

新型コロナウイルス

ワクチンとインフルエンザを含む他のワクチン接種とは前後2週間の間隔をあけて接種する必要がある。

感染予防の一環としても、学校で給食後の歯磨きの実施が広まっているが、注意点は

佃教育次長

本市では、全ての小・

中学校で給食後の歯磨きを実施しており、①時間差を設ける、②児童・生徒同士の間隔をあける、③黙って行うなど、基本的な飛沫防止対策を取っている。

低い姿勢で口をゆすぐ、うがいの回数を減らすなど、さらに学校ごとに具体的な対策を講じており、今後も歯

科医師会からの指導もいただきながら口腔ケアを継続していきたい。



特殊詐欺の被害等、消費者トラブルの相談

は

古田総務部長

総務課内の相談窓口

において昨年度は年間53件、今年度は現時点で23件の相談があった。送り付け商法や架空請求、インターネットで注文した商品が届かない、フリーリングオフなどの相談がある。広報郡上や広報無線での注意喚起、出前講座での啓発など消費者トラブルを未然に防止するよう努めていく。

問 ▶ ごみの出し方のルールは守られているか

環境水道部長 市のルールに沿ったごみの出し方を
お願いしたい



田代 まさよ

可燃物の中に不燃物が入っていると、いろいろな機械の故障の原因になる。ごみの出し方は守られているか

猪俣環境水道部長

市におけるごみの分類区分は29種類となり、県内では最上位に近い分類になる。

異物の混入が確認された場合、収集できず残していくことがある。

混合物は施設の機器に損害を与え高額な修理費が発生する。施設内での原因不明の起火や電池、残存ガスによる爆発は年に数回発生する場合もある。市のルールに沿ったごみの出し方の徹底をお願いしたい。

生ごみを焼却するには多くの灯油が必要になり、CO₂も多く出る。

地球全体の利益や持続性という共通の概念を持つことが大切。ダンボールコンポストを使用して

堆肥をつくり、その堆肥を回収できないか。生ごみの資源化でSDGsを目指せないか

日置市長

生ごみを可燃ごみとして焼却をする処理方法ができるだけ少なくすることは市の廃棄物対策の重要な柱。

一方、堆肥を作ってもやり場に困るということがあり、各地でいろいろな取り組みがされて、市も生ごみを燃焼しない方法を考えていきたい。

脱炭素社会を目指す意味でも非常に大きな課題であり、市民的なひとつの運動として取り組みを進めたい。



ダンボールコンポスト使用例

問 ▶ めいほうトンネル開通と地域づくりは



清水 敏夫

日置市長

10月27日の、めいほうトンネル開通をお喜び申し上げる。

昭和42年に平野二郎元知事が小川へ来られて、地域の皆さんが陳情をされてから54年になる。

当時発行された平野三郎元知事の『知事日記』を見ると、6月26日に郡上郡奥明方村小川部落へ第5回目の僻地訪問をしたとの記述がある。

市長 小川地区だけでなく明宝地域、郡上市の課題として、皆さんと共に邁進を

記述には、「部落民総出の歓迎次いで懇談会、いろいろの要望があったが、最重要と思われるのは小川峠にトンネルを開けてほしいということだ。この部落は冬期交通途絶して、文字通り陸の孤島となる。このことが最大の関心事である。これは容易ならぬ難事業だが、真剣に検討することを約束する。」とある。

このような歴史を踏まえて、その後事業着手になったことを考えると、

私自身この日記を見て感慨深いものがあった。

小川の方たちも、日出雲（ひずも）川に小水力発電の計画など、気概に満ちた地域づくりに取り組んでおられ、大きな期待を寄せている。市も地域おこし実践隊を配置し支援している。

私たちも、地域の力を時には引っぱり、時には押して、このトンネルが出来て良かったという効果を生み出す地域づくりを行いたい。

更に小川地区だけでなく、明宝、郡上市の大きな課題と認識して、皆さんと共に邁進したい。



古田知事さんを笑顔で迎えた小川の皆さん

問

「脱炭素社会郡上」実行計画の立案とその進捗状況は

環境水道部長

郡上市地球温暖化対策実行計画協議会による「実行計画」策定を目指す



野田 勝彦

猪俣環境水道部長

協議会は産業・家庭など各部門の代表者15名、学識経験者3名及び一般公募6名他全26名で構成。

今後ワーキンググループでの協議を重ね、市民・事業者・行政が無理なくできる取り組みで「まじめに楽しく環境保全」を実践してい



実行計画協議会の様子

きたい。

市民の暮らしと営業を守る経済的支援は

①コロナ禍の長期化や原油価格の高騰による

市民の経済的困窮が深刻になっている。低所得者に対する福祉灯油

の実施はできないか

古田総務部長

国の各種支援制度に

対応しつつ、さらに支援が必要と判断されれば、早期に検討を進めたいと考えている。

また、「園芸農業など燃料依存の高い中小事業者に対する支援」については「施設園芸セーフティネット構築事業」を実施している。

②米価が大きく下落しているなかで、農家の

経営と郡上の田園風景を守るためにも、市独自の農家支援策はとれないか

五味川農林水産部長

今年の米価の下落は予想を超え、米を守っていくことが必要と考えている。令和2年度から実施している「がんばれ郡上の農水産物応援事業」の拡充を検討している。

③国民健康保険税の子どもの均等割の軽減を

田口健康福祉部長

国は来年度から未就学児の均等割を5割軽減にする。これに加えての市独自の軽減は、財源確保の観点から困難と考える。

問 公共施設適正配置計画のこれから

市長

計画全体として管理し、示した方向性を基本に進めていきたい



三島 一貴

計画の概要は

日置市長公室長

令和元年度からの10年間を計画期間とし、12分野437施設について、「継続」「統合」「譲渡」「廃止」などの

対応方針を明示し、必要な取り組みとおおよそのスケジュールを示すものである。

計画書では、令和3年度に検討し、令和4年度から検討結果に基づき対応との記載が多い。現在どんな検討を行い、また進捗状況は

市長公室長

施設の所管課や関係する振興事務所が、計画に掲げた「基本的な考え方」や「施設ごとの対応方針」をもとに、実施に向けて更なる課題を洗い出し、解決方法を検討している。

多くは令和3年度内の検討完了を目標としているが、検討に当たり「小さな拠点とネットワーク」との関連や、「今後の公民館のあり方」など、本市の重要政策との整合を図らなければならない施設や内容も多いため、一部の計画については、令和4年度以降への延伸も考えなければ

ならない。

施設を減らす計画であるが、場合によっては新しく設置しなければならない施設もあると考えられるが

日置市長

この計画は、整理統合のためだが、行政は常に変化をしていくため、場合によっては、全く新しいものをつくるという視点を否定するものではない。



廃止及び統合が示された白鳥文化ホール

問 郡上八幡城を活用した観光まちづくりは

商工観光部長

観光拠点であることから、魅力ある郡上八幡城として観光誘客に活かしたい



森藤 文男

郡上八幡城の誘客について、四季を通じてどのような取り組みを推進しているか伺う

可児商工観光部長

「新緑まつり」や「紅葉まつり」の観光客の多い春秋の季節だけでなく、四季を通じて、さまざまな誘客の取り組みをしている。

お城のロケーションPRも兼ねた着物モデル撮影会、京都の染色作家や愛知の書道家の作品展、中秋の名月に合わせた特別コンサートなどを実施している。

「大垣城」「尼崎城」「郡上八幡城」「墨俣一夜城」の4城により、お城を活用した観光まちづくりの推進として「3都市4城連携協定」が平成30年6月30日に締結された。状況と成果について伺う

商工観光部長

コロナの影響により各市とも大きなイベントが

開催できない状況であるが、「3都市4城連携協定」により、官民とも交流の素地ができつつあり、活かしながら今後も誘客を図りたい。

郡上のシンボルでもある、郡上八幡城への登山道の整備を、アフターコロナを見据え、来年度再来年度（木造再建90周年）、木造再建100年に向けた総合的な取り組みは

商工観光部長

市街地の観光施設、駐車場、交通対策とも連携した検証を継続し、歩行者と車両の混在を避ける、より良い効率的な手段を明確に位置付けていく。



門をくぐるとそびえ立つ郡上八幡城

大矢元工業団地における 企業誘致の進捗は



ながおか ふみ お
長岡 文男

商工観光部長 今までに製造業等27件の問い合わせがあった

大矢元工業団地の企業誘致が進展しない状況の中、積極的に推進するために、誘致企業を決定する前に団地の造成工事やアクセス道路の整備についての取り組みはできないか

日置市長 取得造成工事を行うためには農業振興地域の農用地区域内であるため農振除外をクリアできないか県農政部局と折衝したい。アクセス道路についても一体的に検討し、できる限り早い時期に問題点を整理し進めたい。

CO₂を排出しない再生可能エネルギーをどう拡大していくかは重要な政策課題であるが、今まで取り組まれてきた公共施設における太陽光発電システムの設置について、今後どのような方針なのか

古田総務部長 今後公共施設を新設する場合は、原則太陽光パ



太陽光発電パネル設置住宅

ネルを設置する方向で検討し、既存の施設については、防災拠点にかかわる分庁舎や避難施設等について、災害時や日常の補完的な役割としての設置を検討したい。

国は、新築の住宅のゼロエネルギーハウス、いわゆるZEHの実現を目指しているが、市として一般住宅の太陽光発電設備設置促進にどう取り組めるのか

市長 国は「地域脱炭素移行再エネ推進交付金」を予定されているので、国や県の支援を受け、よく検討して推進していきたい。

クイズの答え《第70号出題》

ご応募いただきありがとうございました。応募総数は54件でした。
いただいた貴重なご意見やご感想は、議員及び執行部が全て拝読しております。

正解は 問1 ③5万セット 問2 ①44か所 問3 ③雲外蒼天

抽選の結果、当選された10名の方には、郡上市商品券をお贈りいたしました。
なお、ご応募いただいた方の個人情報は、目的以外には一切使用いたしません。

皆さんからの声

- クイズにご応募いただいた方からのご意見
ご感想の中から一部を要約して紹介します。
体調をくずし病院のお世話になりました。健康保険のおかげ様で安くすみしました。
高鷲 75歳
- 天空の城として郡上八幡城が見える場所への案内がない。堀越峠の途中にいい場所があるが駐車できないため整備した方がよい。
八幡 61歳
- コロナ終息後、長良川鉄道に乗りたいたいです。自転車も載せられるようにして欲しいです。
大和 72歳
- 議会の独立とともにときには市長の考えに対して厳しい声が出せるのが議会だと思っています。大いに期待しています。
- 表紙がとてもいいです。イラストや大きな表題だともっと読みたくなるとしています。
高鷲 61歳
- 今年は運動会も出来てとても嬉しかったです。
大和 8歳
- また議会を拝聴に行こうと思います。議員の皆様の日々の御努力に感謝しております。
八幡 72歳
- 紅葉を見ながら、めいほうトンネルを初めて通りました。立派なトンネルで快適でした。
美並 66歳
- 東京オリンピックで郡上おどりが紹介され、他県に住む郡上出身の友人から連絡があり、おおいに盛り上がりました。
白鳥 69歳

クイズに答えて 郡上市共通商品券を 「ゲット」しましょう!



問1 授乳とおむつ交換ができる施設「赤ちゃんの駅」は現在、市内に何か所設置されているでしょうか?

- ①7か所 ②8か所 ③19か所

問2 訪日外国人旅行者、訪日外国人向けの観光事業のことを何と言うでしょうか?

- ①アウトバウンド ②インバウンド
③リバウンド

問3 災害時における情報提供として、統合型 システムを活用できるようにとの政策提言。 に該当するのは?

- ①GPS ②GSI ③GIS

「議会だより」の中に答えがありますので、よく読んで探してください。

クイズ正解者の中から、抽選で10名の方に郡上市共通商品券をプレゼントいたします。

応募方法

クイズの答え・郵便番号・住所・氏名・年齢を記入して、はがき又はファックスでご応募ください。当選者は商品券の発送をもって発表に代えさせていただきます。

ご意見は

ご応募に合わせて皆さまの声も是非お寄せください。お寄せいただいたご意見の一部について、内容を要約し、無記名で掲載させていただきます。

あて先

〒501-4297 郡上市八幡町島谷228番地
郡上市議会 議会事務局 FAX67-1821
締め切り:令和4年2月25日(金) 当日消印有効
※ご応募いただいた個人情報は目的以外に一切使用いたしません。
※皆さまからお寄せいただいたご意見は、全議員及び市長はじめ執行部に報告させていただきます。

表紙写真説明

受け継がれてきた伝統に
思いをこめて(しらお獅子)

「少年文化の集い」の始まりを機に創作され、現在まで引き継がれてきました。力強く響く太鼓、美しい響きの横笛、毬を巧みに操る子ども、そして勇壮な駆け引きを繰り広げる三頭の獅子と青龍。

牛道小の長きにわたる伝統に思いをこめ、後輩に引き継がれていきます。



編集後記

令和2年4月より初めて関わらせていただきました。ご意見やクイズの応募が増えていることに厚くお礼を申し上げます。

「議会だより」の発行にあたり各担当者が原稿を作成します。それを委員会全員で校正をしていくのですが、本当に細かいところまで丁寧に校正をさせていただきます。とても勉強をさせていた

だいています。

また、小学校に表紙の

広報広聴 特別委員会

委員長 野田勝彦
副委員長 本田教治
委員 清水敏夫
渡辺友三
田代まさよ



3月定例会の予定

月 日	曜日	会議の内容
2月15日	火	議会運営委員会・全員協議会
2月18日	金	総務常任委員会協議会
2月21日	月	産業建設常任委員会協議会
2月22日	火	文教民生常任委員会協議会
2月24日	木	開会・議案説明
2月28日	月	議会運営委員会・予算特別委員会・本会議
3月2日	水	
3月3日	木	予算特別委員会
3月4日	金	
3月7日	月	
3月8日	火	予算特別委員会・本会議
3月10日	木	総務常任委員会
3月11日	金	産業建設常任委員会
3月14日	月	文教民生常任委員会
3月16日	水	
3月17日	木	一般質問
3月18日	金	
3月23日	水	議会運営委員会
3月24日	木	閉会

※開会時間は原則9時30分です。
日程・時間に変更になる場合があります。

